

超党派フリースクール等議員連盟 前座長 / 前文部科学大臣
馳 浩 議員

「一人の喜びをみんなで共有できる教育行政」を私は目指しています。「学校制度の充実と再生」「いじめ／不登校対策・多様な教育の学習環境の整備」は私のライフワークの一つです。これらの取り組みは、将来の日本の成長に大きく寄与すると確信しています。

チア・にっぽんは、ホームスクーリングの全国的なサポート団体として17年間、希望と志に満ちて積極的に歩み、40年の歴史を持つ海外のホームスクーリング団体らと強い絆を築きつつ、全国の家族への支援活動を重ねてきました。

2014年6月に超党派議連が発足し、20回以上の審議を尽くしてきた多様な教育をめぐる「教育機会確保法案」では、チア・にっぽんは緻密な取材を続け、教育現場と関係議員・行政の双方の思いを活かした、実践的で興味深い提案を、情熱的に続けています。

チア・にっぽんマガジン43号、44号にまとめられた、同法案をめぐる永田町を舞台にした1年半のドキュメンタリー特集からは、子どもたち一人ひとりへのサポートを目指す超党派の関係議員、文科省、そして当事者の今と課題、心意気が見えてきます。

衆参両院の各先生方に、今後、この法案について自由にご検討いただく一つの情報として、参考にしていただければと願っています。

チア・にっぽんが今後も子どもたち一人ひとりのために、一層、“気合”を入れて励み続けていくことを、期待しています。

